

病院NO	事例NO	団体	医療機関名	病院規模	所在地(県)	所在地(市町)	病床数(床)	事例のポイント	取組の種類	地域連携バス、地域ネットワーク等	別途提出資料
48	67	全自病	砂川市立病院	400床以上	北海道	砂川市	けん	地域包括ケア病棟の開設し、当該病棟の地域的な必要性と当院が地域で果たすべき役割等を勘案し、1病棟を地域包括ケア病棟へ転換し、当地域の医療体制に幅ができた。診療情報等を、各医療機関(医科・歯科)、調剤薬局、訪問看護ST、介護保険事業所、市保健センター、市介護福祉課、消防などがリアルタイムに参照できるシステムを構築し、地域(市内)での医療介護連携の強化を図る。	院外の広範囲な職種や団体との連携 病院-病院連携 病院-診療所・施設等連携	—	無
49	68	全自病	八戸市立市民病院	400床以上	青森県	八戸市	608	地域の医療機関が定期的集まる機会を設置し、検討会を通じて地域連携バスを作成し、運用を行う。	病院-病院連携 病院-診療所・施設等連携	脳卒中連携バス、大腿骨頭部骨折バス、がん地域連携バス	無
50	69	全自病	岩手県立中央病院	400床以上	岩手県	盛岡市	685	今後、地域連携の強化を見据えて、退院調整看護師及びMSWの増員を予定している。	看護師等の大きな配置換え、新たな職員(職種)の確保	脳卒中連携バス、大腿骨頭部骨折バス、がん地域連携バス	無
51	70	全自病	青梅市立総合病院	400床以上	東京都	青梅市	562	平成22年5月地域連携診療計画管理料算定を行うことを目的として、院内で取組みを開始。脳卒中、地域連携計画管理料の施設基準を届出し、平成22年11月1日より算定開始。患者の紹介や転院、逆紹介などが適切に行われるよう、脳卒中を発症した全ての患者に使うことができる脳卒中地域連携用クリティカルバスを目指す。	病院-病院連携	西多摩脳卒中地域連携クリティカルバス	無
52-1	71	全自病	公立陶生病院	400床以上	愛知県	瀬戸市	701	地域連携バスを運用し、急性期医療機関から回復期医療機関等を経て、早期に自宅復帰できるよう関係医療機関で役割分担を共有した診療計画を作成し、患者が安心して治療を受けられるような地域完結型医療を推進する。	病院-病院連携	尾張東部大腿骨頭部骨折地域連携バス、尾張東部脳卒中地域連携バス、5大がん術後地域連携バス	無
52-2	72	全自病	公立陶生病院	400床以上	愛知県	瀬戸市	701	瀬戸旭医師会が在宅医療連携推進拠点事業の補助事業者に指定。平成26年2月から瀬戸・尾張旭地区を中心としたこの地域の医療・介護関係団体との情報共有と今後の地域包括ケアの構築に関する協議を目的として「瀬戸旭在宅医療介護連携推進協議会」を設立し、地域における様々な問題について多職種で毎月協議。(病院からも参画している)	病院-診療所・施設等連携	地域でのICT電子@連絡帳「もーやっこネットワーク」が導入され、当院でも利用者を増やし、在宅移行患者に利用している。	無
53	73	全自病	市立ひらかた病院	200~399床	大阪府	枚方市	335	市内の医師会、病院協会、歯科医師会、公的5病院が協力して、地域医療ネットワークを構成する取り組みを開始。平成27年12月に協議会を立ち上げ、公的4病院間、あるいは公的4病院と市内の病院、診療所との間で、ICTを活用した患者情報の共有化を企画。今後は枚方市外への運用も視野に入れている。	病院-病院連携 病院-診療所・施設等連携	—	無
54-1	74	全自病	島根県立中央病院	400床以上	島根県	出雲市	679	平成24年4月、地域医療連携担当の看護師を構成員として「地域医療連携看護師会議」を発足。医療機関の地域連携を担う部門の看護師が連携し、継続看護の充実と看護に質の向上を図る。顔の見える関係を構築して連携の強化、看護の質の向上を図る。また、地域連携看護学習会開催地域の在宅スタッフや施設等職員と顔の見える関係を作り、地域の看護師等に当院で実施している看護ケアを理解してもらい活動も推進。	病院-病院連携 病院-診療所・施設等連携	—	無

病院NO	事例NO	団体	医療機関名	病院規模	所在地(県)	所在地(市町)	病床数(床)	事例のポイント	取組の種類	地域連携バス、地域ネットワーク等	別途提出資料
54-2	75	全自病	島根県立中央病院	400床以上	島根県	出雲市	679	圏域の9つの医療機関のMSW等が毎月1回会議を開催し、各病院の体制、病床の稼働状況、待機状況等の情報交換を行い、効率的な連携を推進。介護施設や市介護保険担当部署との意見交換の場を持ち、それぞれの機能や役割、実際の運用等について、医療機関と地域関係機関の相互理解を進めている。	院外の広範囲な職種や団体との連携	—	無
54-3	76	全自病	島根県立中央病院	400床以上	島根県	出雲市	679	地域連携バスの運用についての報告	病院-病院連携 病院-診療所・施設等連携	脳卒中連携バス、がん連携バス、緩和ケア連携バス	無
55	77	全自病	徳島県立中央病院	400床以上	徳島県	徳島市	460	急性期病院として、在宅医療を推進している診療所医師や訪問看護師、ケアマネージャー、保健師などと、顔の見える関係を構築するため、講演会、WSを継続的に実施。。医師会、看護協会を訪問し、急性期病院が地域包括ケアにどのように貢献するのかについて、情報交換を実施。	病院-診療所・施設等連携	—	無
56	78	全自病	福岡市民病院	200~399床	福岡県	福岡市	204	地域医療支援病院の役割を果たすために、「かかりつけ医」との役割分担及び連携をし、紹介患者に最適な医療の提供や医療機器等の共同利用を推進している。また、医師及び地域医療連携室による開放型登録医への定期的な訪問を行い、地域の医療機能・医療ニーズを把握。地域の医療従事者に対して、オープンカンファレンス等の研修会を実施。また、多職種協働によるチーム医療(脳卒中等への病病連携)を推進し、病院相互の医療の質向上を図る。	病院-病院連携 病院-診療所・施設等連携	福岡市医師会方式脳卒中地域医療連携バス、福岡市医師会方式大腿骨頸部骨折地域医療連携バス	有(連携バス連絡会)
57	79	全自病	公立多良木病院	200床未満	熊本県	多良木町	199	医師が不足の為、27年10月より一般病棟の1病棟を休床し、残り病床の一部を地域包括ケア病床に再編	院内の病棟再編・新病棟の設置	がん連携バス「私のカルテ」	無

図 1.2 急性期指標の作成（病院プロフィール作成）

●病院プロファイリング

病床機能報告・個票データや病院機能に関する他の県庁保有情報、医療関係者等からのヒアリングを、「一病院一行（数行以内）」の形式に統合し、デルファイ法により各病院（病棟）の病床機能分類を行う試み。

1

●急性期指標の作成

医師、看護師の合議体で指標を選抜。具体的には、病床機能報告の411項目から、主たる診療分野が急性期であるような病院が満たしそうな217項目を選び、平均値や分散を標準化して、全項目の合計値を算出。

2

●急性期指標の元データの作成

- 2014年病床機能報告「個票データ(年間)」と「レセプト基本項目(6月診療分)」を利用して作成。

道庁	ID(道庁記載の7桁コード)	都道府県番号	医療機関コード	病院名	(1)看護部		(2)検査部		(3)看護補助者		①施設全体の職員数	
					常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	施設全体の職員数	②理学療法士
4826	1290188	59	1201347	医療法人博愛	73	12.2	12	0.9	16	5.1	0	0
4827	1290238	59	5001192	一般財団法人	212	4.9	4	0.8	143	13.8	0	0
4828	1290269	59	5001021	医療法人ホウ	21	1.3	8	0	8	0	0	0
4829	1290280	59	5001076	医療法人拓基	7	2.7	10	4.8	13	1.7	0	0
4830	1290432	59	5001502	医療法人拓基	51	7.83	14	1.39	27	0	0	10
4831	1290411	59	5101225	一般財								

2014年 病床機能報告 個票データ(年間)

道庁	病院名	医療機関ID(医療機関コード)	医療機関コード	診療科目	住所(〒)	名称	電話番号	FAX番号	①患者入床数(手術入院数(手術室)等)		②入院患者数	
									レセプト件数	実床数	1-1	1-2
2299846	29	2299846	29						0	0	0	0
2298825	29	0400593	833-0081	松江市東川101-1	岡田その子診療所	0744-45-0744-65-1okada@com	0	0	0	0	0	0
2298754	29	1201121	8339-8339-2231	松島町新藤	藤原 肇 院長	0745-0745-0745-1kugiyu@com	0	0	0	0	0	0
2298492	29						0	0	0	0	0	0
2298430	29						0	0	0	0	0	0
2298134	29	5111182					0	0	0	0	0	0
2288011	29	0101890	831-0813	松島町松島	松島市松島診療所	0742-47-0742-47-7083	0	0	0	0	0	0
2297976	29	5001017	838-8388	松島町松島(旧)町	松島市松島診療所	0742-47-0742-47-7083	0	0	0	0	0	0

2014年 病床機能報告 レセプト基本項目 (6月診療分)

●病床機能報告の項目

●レセプトから

入院基本料(一般病棟入院基本料等)、特定入院料(特定機能病院入院基本料・救命救急入院料等)、有床診療所入院基本料など

手術総数、全身麻酔の手術総数、胸腔・腹腔鏡下手術、内視鏡手術用支援機器加算、放射線治療など

がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療状況、重症患者への対応状況(持続緩徐式血液濾過、大動脈バルーンポンピング法、頭蓋内圧持続測定、人工心肺、血漿交換療法など)

救急医療の実施状況(院内トリアージ実施料、休日夜間救急搬送医学管理料、救急医療管理加算など)

急性期後の支援・在宅復帰への支援の状況

全身管理の状況(呼吸心拍監視、酸素吸入、ドレーン法、人工呼吸、経管栄養カテーテル交換法など)

リハビリテーションの実施状況 (疾患別リハビリテーション料、早期リハビリテーション加算など)

長期療養患者の受入状況、重度の障害児等の受入状況

スタッフ数(医師、看護師、准看護師、看護補助者、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、臨床工学士の常勤・非常勤)

●個票データから

病床数(一般病棟・療養病棟、病床機能4区分、総病床数・稼働率、診療科)、入院患者数の状況(新規入床患者数、在床患者延べ数など)

入床前の場所・退床先の場所別の入院患者の状況等、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を満たす患者の割合

救急医療の実施状況(休日に受診した患者延べ数、夜間に受診した患者延べ数、救急車の受入件数)、医療機器の台数(CT、MRIなど)

退院調整部門の設置状況

411項目

急性期指標に近い項目

●レセプトから

入院基本料(一般病棟入院基本料等)、特定入院料(特定機能病院入院基本料・救命救急入院料等)、有床診療所入院基本料など

手術総数、全身麻酔の手術総数、胸腔・腹腔鏡下手術、内視鏡手術用支援機器加算、放射線治療など

がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療状況、重症患者への対応状況(持続緩徐式血液濾過、大動脈バルーンパンピング法、頭蓋内圧持続測定、人工心臓、血漿交換療法など)

救急医療の実施状況(院内トリアージ実施料、休日夜間救急搬送医学管理料、救急医療管理加算など)

急性期後の支援・在宅復帰への支援の状況

全身管理の状況(呼吸心拍監視、酸素吸入、ドレーン法、人工呼吸、経管栄養カテーテル交換法など)

リハビリテーションの実施状況(疾患別リハビリテーション料、早期リハビリテーション加算など)

長期療養患者の受入状況、重度の障害児等の受入状況

スタッフ数(医師、看護師、准看護師、看護補助者、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、臨床工学士の常勤・非常勤)

●個票データから

病床数(一般病棟・療養病棟、病床機能4区分、総病床数・稼働率、診療科)、入院患者数の状況(新規入棟患者数、在棟患者延べ数など)

入棟前の場所・退棟先の場所別の入院患者の状況等、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を満たす患者の割合

救急医療の実施状況(休日に受診した患者延べ数、夜間に受診した患者延べ数、救急車の受入件数)、医療機器の台数(CT、MRIなど)

退院調整部門の設置状況

217項目(下線)を使用

5

項目の縮約(例:CT)



CTについての項目・・・4項目(病床機能報告)

→「急性期指標に近い項目」として選定(前スライド)

→4項目を合算して1項目へ → 「CT」という急性期指標項目としては1項目へ縮約して使用

6

急性期指標に投入した縮約項目

下記の70項目（縮約前は217項目）

看護師、助産師、薬剤師、臨床工学士

新規入院患者数・うち救急の予定外入院、退棟患者、休日に受診した患者延べ数、夜間に受診した患者延べ数、救急車の受入件数

医療機器（CT、MRI、血管連続撮影装置、SPECT、PET/PETCT、強度変調放射線治療器、遠隔操作式密封小線源治療装置）

全身麻酔による手術件数、人工心肺を用いた手術、腹腔鏡下手術、分娩件数

総手術件数、胸腔鏡下手術、脳外科的手術、心臓カテーテル、悪性腫瘍手術

病理組織標本作製、術中迅速病理組織標本作製、放射線治療、化学療法、がん患者指導管理料、抗悪性腫瘍剤局所持続注入、肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入、超急性期脳卒中加算

特定機能病院、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、小児入院医療管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、短期滞在手術等基本料

人工心肺、大動脈バルーンパンピング法、大動脈バルーンパンピング法、経皮的心肺補助法（PCPS）、人工透析、夜間休日救急搬送医学管理料、救急医療管理加算、救命のための気管内挿管、非開胸の心マッサージ、カウンターショック、中心静脈注射、呼吸心拍監視、観血的動脈圧測定、ドレーン法、胸腔若しくは腹腔洗浄、人工呼吸（5時間を超えた場合）、ハイリスク分娩管理加算、ハイリスク妊産婦共同管理料、観血的肺動脈圧測定、補助人工心臓・植込型補助人工心臓、頭蓋内圧持続測定、院内トリアージ実施料

心大血管疾患、脳血管疾患等、運動器、呼吸器、がん患者、早期リハビリテーション加算

7

1. 病床数

●病棟毎の病床数

個々の病院ごとに、「一般・療養病床」のどちらか、「総病床数・稼働病床 数」、「機能区分別」、「病床種別」を整理する。

（2014年奈良県病床機能報告 個票データ使用）

serial	1. 医療圏	2. 病院名	3. ID [通知記載の7桁コード]	4. 病棟		5. 病院が申請した機能区分				6. 病床種別		
				一般/療養病床のどちらか	病床数	稼働数	高度急性期	急性期	回復期		慢性期	
1	奈良	一般財団法人沢井病院	1290811	一般病棟	55	55	0	55	0	0	0	内科、外科、整形外科、放射線科
1	奈良	一般財団法人沢井病院	1290811	療養病棟	56	56	0	0	0	56	0	内科、外科、整形外科、放射線科
2	奈良	独立行政法人国立病院機構	1290892	3A病棟	50	50	0	0	0	50	0	脳神経外科
2	奈良	独立行政法人国立病院機構	1290892	南病棟	25	25	0	0	0	25	0	内科
2	奈良	独立行政法人国立病院機構	1290892	1A病棟	50	50	0	0	0	0	50	内科、小児科
2	奈良	独立行政法人国立病院機構	1290892	1B病棟	50	50	0	0	0	0	50	内科、小児科
2	奈良	独立行政法人国立病院機構	1290892	2A病棟	50	50	0	0	0	0	50	神経内科、内科、脳神経外科
2	奈良	独立行政法人国立病院機構	1290892	2B病棟	50	50	0	0	0	0	50	神経内科、内科、脳神経外科
3	奈良	奈良医療センター	1290905	南館2階病棟	50	50	0	0	0	0	50	小児科、神経内科、脳神経外科
3	奈良	奈良医療センター	1290905	南館3階病棟	42	42	0	0	0	0	42	内科
3	奈良	奈良医療センター	1290905	東館2階病棟	54	54	0	0	0	0	54	内科、外科
3	奈良	奈良医療センター	1290905	東館3階病棟	44	44	0	0	0	0	44	内科、外科
3	奈良	奈良医療センター	1290905	本館3階病棟	59	59	0	0	0	0	59	内科、外科
3	奈良	奈良医療センター	1290905	本館4階病棟	59	59	0	0	0	0	59	内科、外科
3	奈良	奈良医療センター	1290905	本館5階病棟	59	59	0	0	0	0	59	内科、外科
4	奈良	医療法人社団石洲会 石洲会病院	1291131	1病棟	83	83	0	0	0	0	83	内科
5	奈良	医療法人宝山会 奈良小南病院			80	80	0	0	0	0	80	内科、外科
5	奈良	医療法人宝山会 奈良小南病院			29	29	0	0	0	0	29	内科、外科
5	奈良	医療法人宝山会 奈良小南病院			44	44	0	0	0	0	44	内科、外科
5	奈良	医療法人宝山会 奈良小南病院			23	23	0	0	0	0	23	内科、外科
5	奈良	医療法人宝山会 奈良小南病院			21	21	0	0	0	0	21	内科、外科
6	奈良	地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター			50	50	0	0	0	0	50	内科
6	奈良	地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター			44	44	0	0	0	0	44	内科
6	奈良	地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター			50	50	0	0	0	0	50	内科
6	奈良	地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター			44	44	0	0	0	0	44	内科

8

3. スタッフの配置(2)

4. スタッフの配置

医師(平均値0.13)	看護師(平均値0.43)	助産師(平均値0.07)	薬剤師(平均値0.03)	臨床工学士(平均値0.02)	小計	准看護師(平均値0.11)	看護助手(平均値0.23)	理学療法士(平均値0.06)	作業療法士(平均値0.06)	言語聴覚士(平均値0.02)
0.62	0.48	0	1.00	0	2.10	1.73	0.83	1.75	0.33	0
0.69	1.68	0	1.00	0.50	3.87	0.04	0.04	0.50	0.17	0.50
0.31	0.42	0	0.67	0	1.39	0.82	0.39	0.25		
0.38	0.47	0	0.67	0	1.51	0.73	0.35	0		
0.23	0.53	0	0	0	0.76	1.09	0.52	0.25		
2.31	1.92	1.00	1.67	1.00	7.89	0.27	0.13	0.13		
0.77	0.77	0	0.67	0	2.21	1.64	0.78	1.50		
0.31	0.86	0	0.67	0	1.83	0.09	0.04	5.38		
0.92	1.40	0	0.67	3.00	5.99	1.09	0.52	1.13		
1.46	1.96	0	3.00	3.50	9.92	1.27	0.61	1.13		
2.54	1.77	0.71	2.33	1.00	8.35	0.09	0.04	0.50		
0.77	0.60	0	1.67	1.00	4.03	1.09	0.52	0.63		
1.00	1.34	0	0.67	1.00	4.01	1.09	0.52	2.38		
1.00	1.17	0	1.33	0	3.51	1.82	0.87	0.38		
1.54	1.44	0	2.00	2.00	6.98	0.64	0.30	1.50		
0.64	0.64	0	0.33	0	1.61	0.09	0.04	0.50		

【評価対象より除外】

- ・准看護師や補助看護師は回復期・慢性期病院の方に人数が多くなる傾向あり。
- ・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士も急性期のリハビリとして重要な存在ではあるが、慢性期や回復期にも多く配置がある。

看護師は、「その他の看護師数」に精神科病棟の看護師数が含まれているため、「その他」を除いた常勤・非常勤の「病棟」「外来」「手術室」の合計人数を入力。

薬剤師にも精神科の人数が含まれている。
 病院によって精神科の薬剤師の報告項目が違うため、下記計算方法で薬剤師数を算出。
 ・薬剤師の総人数÷精神科も含む病床数×精神科以外の病床数=薬剤師数

助産師、臨床工学士は「病棟」「外来」「手術室」「その他」すべての人数を入力。

3. スタッフの配置(ポイント算出方法)

4. スタッフの配置

医師(平均値0.13)	看護師(平均値0.43)	助産師(平均値0.07)	薬剤師(平均値0.03)	臨床工学士(平均値0.02)	小計	准看護師(平均値0.11)	看護助手(平均値0.23)	理学療法士(平均値0.06)	作業療法士(平均値0.06)	言語聴覚士(平均値0.02)
0.62	0.48	0	1.00	0	2.10	1.73	0.83	1.75	0.33	0
0.69	1.68	0	1.00	0.50	3.87	0.09	0.04	0.50		
0.31	0.42	0	0.67	0	1.39	0.82	0.39	0.25		
0.38	0.47	0	0.67	0	1.51	0.73	0.35	0		
0.23	0.53	0	0	0	0.76	1.09	0.52	0.25		
2.31	1.92	1.00	1.67	1.00	7.89	0.27	0.13	0.13		
0.77	0.77	0	0.67	0	2.21					
0.31	0.86	0	0.67	0	1.83					
0.92	1.40	0	0.67	3.00	5.99					
1.46	1.96	0	3.00	3.50	9.92					
2.54	1.77	0.71	2.33	1.00	8.35					
0.77	0.60	0	1.67	1.00	4.03					
1.00	1.34	0	0.67	1.00	4.01					
1.00	1.17	0	1.33	0	3.51					
1.54	1.44	0	2.00	2.00	6.98					
0.64	0.64	0	0.33	0	1.61					
2.08	2.00	0	0.33	0	4.41					
0.69	0.63	0	0.67	0	1.99					
0.92	1.07	0	1.00	1.00	3.99	0.55	0.26	1.13	0.33	0.50

【看護師】

- ①(その他の看護師数は除いた常勤・非常勤合計)÷総病床数=A
- ②Aが0または欠損値以外の病院数で偏差値化
- ③Aが0または欠損値の病院の偏差値を0とする

【医師・助産師・臨床工学士】

- ①すべての所属の常勤・非常勤合計÷総病床数=A
- ②Aが0または欠損値以外の病院数で偏差値化
- ③Aが0または欠損値の病院の偏差値を0とする

【薬剤師】

- ①すべての所属の常勤・非常勤合計=A(病院全体の薬剤師数)
- ②A÷(精神科病床数+一般病床数)×一般病床数=B(一般病床に割当てた薬剤師数)
- ③B÷総病床数=C
- ④Cが0または欠損値以外の病院数で偏差値化
- ⑤Cが0または欠損値の病院の偏差値を0とする

5. 医療機器、保有設備(算出方法)

6. 医療機器ポイント (2014年病院機能報告 個票データより) ※台数に関わらず医療機器を設置・保有していれば1とする														7. 院内保有設備ポイント(2014年病院機能報告 個票データとHPより) ※ベッド数に関わらず設備保有し機能していれば1とする														
CT	MRI	血管造影装置	SPECT	PET/CT	PET/CT	強度変調放射線治療装置	遠隔操作式放射線治療装置	大動脈バルーンポンプ装置	補助人工心臓	中間計測(算出)	手術室	リハビリ室	ER	ICU	CCU	HCU	SCU	NICU	GGU	MFTC U	整備ベッド	産婦人科病床	精神科病床	中間計測(算出)	合計=中間計測(算出)平均値(2.40)	地域包括ケア病床		
1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.77	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.42		
1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.77	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.83		
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.38	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.83		
1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1.15	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.83		
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0.38	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.42		
1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	5	1.92	1	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	6	2.50		
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.38	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.42		
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.42	
1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	5	1.92	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1.25	○50床	
1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.77	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.83			

- 保有台数に関わらず保有していて医療機器の役割を果たせる状態であれば各①種類毎に1をカウント・・・A
 ②Aの9項目のポイントを合計・・・B
 ③Bが0または欠損値以外の病院数で偏差値化
 ④Bが0または欠損値の病院の偏差値を0とする

6. 総合入院体制加算1、2にかかる施設基準

(2014年奈良県病床機能報告 個票データ、奈良県ホームページ使用)

【分娩件数のみ】県庁より「県内医療機関別分別取扱い件数」平成26年度年間データ使用

総合入院体制加算は総合的かつ専門的な急性期医療を24時間提供できる体制等を持つ病院を評価するもの。

8. 総合入院体制加算1、2にかかる施設基準										
(病床機能報告集計/奈良県2014/ローデータより)						県HPより				
全身麻酔を用いた手術件数(平均値 2.36)	人工心肺を用いた手術(平均値 0.18)	悪性腫瘍手術	腹腔鏡下手術(平均値 0.49)	放射線治療(体外照射法)(平均値 3.11)	化学療法	分娩件数(県庁年間データより)(平均値 12.40)	合計	第三次救急(24時間体制)実施	第二次救急(24時間体制)実施	精神科
0.30	0	0	0.36	0.19	1	0	0.85	×	○	○
0	0	0	0.28	0	0	0	0.28	×	○	○
0.11	0	手	0	0	0	0	0.11	×	○	○
0	0	術	0	0	0	0	0	×	○	○
1.68	0	性	1.13	2.06	ん	129	6.36	○	×	○
0.89	0	数	0	0	・	0	0.99	×	○	○
0	0	/	0	0	區	0	0	×	○	○
1.42	0	年	0.59	0	卒	0	2.01	×	○	○
2.14	0	間	1.32	0	中	0	3.46	×	○	○
1.80	0	性	1.88	0.74	・	1.41	5.83	×	○	○

- 【ポイント算出方法】
 ①レセプト報告数×12か月=A(年間推計)
 ②A÷総病床数=B
 ③Bが0または欠損値以外の病院数で偏差値化
 ④Bが0または欠損値の病院の偏差値を0とする

(病床機能報告集計/奈良県2014/ローデータより)						県HPより					
全身麻酔を用いた手術件数(平均値 2.36)	人工心肺を用いた手術(平均値 0.18)	悪性腫瘍手術	腹腔鏡下手術(平均値 0.49)	放射線治療(体外照射法)(平均値 3.01)	化学療法	分娩件数(県庁年間データより)(平均値 12.40)	合計	第三次救急(24時間体制)実施	第二次救急(24時間体制)実施	救急告示	精神科病床有り/24時間対応
2.36	0.18		0.49	3.01		12.40					

- 【分娩件数】
 ①平成26年度年間データ÷総病床数=A
 ②全病院のAの合計÷Aが0以外の病院数=B(平均値)
 ③A÷B=ポイント